

平成29年度 星が丘中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- ① 健康で気力のある生徒を育成する。
- ② 学力豊かで創造力のある生徒を育成する。
- ③ 勤労を尊び責任感のある生徒を育成する。
- ④ 国際感覚に秀で思いやりのある生徒を育成する。

【目指す生徒像】

- | | |
|-----------------|------------------|
| ① 気力あふれるたくましい生徒 | ② 自ら学び考える生徒 |
| ③ 進んで仕事をする生徒 | ④ 豊かな心と思いやりのある生徒 |

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

21世紀の知識基盤社会の時代を生きる人間を育てるに当たり、生徒の自己教育力を高める創造的な学校経営の推進を柱として、生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育み、生徒が自分の未来を切り拓く力を育てる教育を実践する。

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）確かな学力の定着

・授業時数の確保と学習指導要領に基づく授業の展開と工夫、個に応じた指導の中で、基礎的・基本的な知識・技能等の育成や思考力・判断力・表現力等の育成、さらには指導と評価の一体化を推進し、確かな学力の定着を図り、「わかる授業」の推進に努める。

（2）心の教育の推進

・読書活動、あいさつ運動、心に響く道徳教育、国際理解教育、福祉教育等の充実を図り、教育活動全体をととして、思いやりにあふれた心の教育を推進する。

（3）生徒指導の充実

- ・一人一人の家庭的な背景を踏まえながら、生徒とのコミュニケーションを重視し、信頼関係の構築に努める。
- ・生徒の自律を促すための「育てる生徒指導」（自己教育力・自己肯定感の育成）の推進を図る。
- ・解決すべきに対して家庭や他機関との連携を図りながら組織的に取り組み、解決・解消に努める。

（4）健康・体力の向上

- ・食育の充実と健康的な生活を送るための指導の充実を図る。
- ・新体力テストの結果を活用し、進んで運動に取り組む態度の育成と体力の向上を図る。

（5）特別支援教育と教育相談の充実

・生徒一人一人のニーズに対応した教育支援の充実が図れるよう、校内特別支援委員会を中心に組織的に取り組む。

・不登校の防止や解消、生徒一人一人の悩みの解消を図り、明るい学校生活を実現するために、教育相談の充実を図る。

（6）家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進

・地域の教育力を生かし、家庭・地域社会との連携と開かれた学校づくりに努めるとともに、地域に信頼される学校づくりを推進する。

（7）教職員の使命感と資質の向上

・時代や生徒・保護者のニーズに応えるため、教職員としての使命感に徹し、協働体制のもとに各自の特性の発揮と資質の向上に努める。

【星が丘地域学校園教育ビジョン】 「未来を切り拓く豊かな社会性の育成」

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（1）学校運営

- ・生徒の自己教育力を高める、創造的な学校経営の推進 — 生徒の自己肯定感を助長するための指導の工夫 —

（2）学習指導

○意欲的に学習に取り組む学力豊かな生徒の育成

（3）生徒指導

○家庭・地域との連携を深め、心豊かで思いやりのある生徒の育成

○生徒の良さを積極的に見出し、称賛することを通して、自己肯定感や誇りを持てる生徒の育成

（4）健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）

○自己の健康・体力の状況を的確に理解し、進んで健康・体力の向上に励むたくましい生徒の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】肯定的回答 80%	生徒会活動の充実を図り、特に学校行事等では、生徒の自発的・自治的活動を積極的に取り入れ、成就感を味わわせる。	B	【達成状況】教職員・保護者・地域住民で 90%を超える高評価であった。生徒も昨年度から微増の 85.9%と高評価であった。教職員の評価のみ昨年比で若干評価が低下している。 【次年度の方針】生徒会活動や学校行事を軸に、明るく活気に満ちた雰囲気作りに努める。また、内容の精選を図る。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】肯定的回答 80%	教職員一人一人が学年、教科、校務分掌等職員間で率直にアドバイスし合える雰囲気作りに努め、互いの授業力や同僚性を高め合う職員室にする。	B	【達成状況】全ての回答者で 85%を超えた。保護者・地域住民・児童生徒ともに昨年度からの肯定的な割合が向上している。日頃の教職員のより良い指導の成果が表れていると思われる。 【次年度の方針】自己教育力を高める学習指導や生徒指導を共有することで、教職員一人一人が互いの授業力や指導力を高め合うようにする。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】肯定的回答 80%	授業・日常生活の決まりやマナーの状況を細かい点も全職教員で確認し、情報を周知し、課題を共有するとともに休み時間等の巡視を行っていくことで、目の届かない場所や時間を少なくしていく。	B	【達成状況】教職員の肯定的回答が 90.2%に対し、生徒の肯定的回答が 81.2%と開きがある。教職員の目の届かないところで、ルール・マナーが守られていない部分もあると思われる。 【次年度の方針】生徒の規範意識を高める指導に努めていく。廊下を走らないなどの指導を徹底していく。
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】肯定的回答 80%	育てたい力を明確にし、深い学びに結び付く授業を実践するため、ICTの活用や言語活動の充実を図る。	B	【達成状況】保護者は 76.8%ではあるが、昨年度より 7%向上し、生徒の肯定回答も向上している。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】肯定的回答 80%	いじめに関する道徳の授業を全クラスで実施し、人権教育の観点から「言葉」の指導を日常的に行っていくなど、日頃からいじめにつながる言動に対し、敏感かつスピード感をもって対応していく。	B	【達成状況】生徒の肯定的回答 90.6%に対し、保護者の肯定的回答が前年比 13.1%増加したものの 69.2%と低い。教職員のいじめへの取組が保護者に十分伝わっていないと考えられる。【次年度の方針】引き続きいじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、いじめの起こらない集団作りに力を入れる。
	A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】肯定的回答 80%	教育課程の適切な実施に向け、校内外の行事を調整し、各種便りや通知で計画を明示及び告知する。授業交換を積極的に行い、授業時数の確保に努める。	B	【達成状況】教職員・保護者・地域住民で 90%を大きく超え、生徒も 88%と高評価であった。授業実施時数も十分に確保できた。 【次年度の方針】今後も、学校の特色を生かした教育課程編成と授業時数確保に努める。
	A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】肯定的回答 80%	学校からの各種便りを積極的に発行し、ホームページの更新に努め、情報を発信する。また、総合的な学習の時間で地域人材と連携した体験活動を実践し、地域の資源を活用する。	B	【達成状況】全ての回答者で 90%を超える好評価を得た。オープンスクールや学校行事への保護者・地域住民の参加も多く、開かれた学校づくりが進んだ。 【次年度の方針】各種便りやウェブサイトの内容を一層工夫し、学校からの情報提供に努めていく。
	A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】肯定的回答 80%	地域協議会の事業や活動をPTAや保護者会等で報告し、ボランティア活動への理解と推進を図り、人材バンクの充実に努める。	B	【達成状況】全ての回答者で 80%を超える高評価を得た。図書・花壇整備のボランティアなど、地域人材を活用した。 【次年度の方針】生徒のボランティア活動も含め、地域と連携した活動やその趣旨等について、丁寧に説明していく。

教育活動の状況	生	A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】肯定的回答 80%	校内の環境美化のために、地域の教育力を活用し、生徒とともに美化活動を行う。また、清掃活動の充実を図る。	B	【達成状況】教師は 60.8%と特に低いが、それ以外は 80%以上である。生徒の荷物がロッカーに入りきらないなどハード面の不備も指摘される。 【次年度の方針】清掃分担場所に対する生徒人数の適正化を図り、清掃活動に一人一人がしっかり取り組めるようにする。
		A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】肯定的回答 80%	<u>小中一貫の日を有効活用し、積極的に部会運営を行い、小中が連携して児童生徒の健全育成に努める。</u>	B	【達成状況】教職員・保護者・地域住民では 90%を超える高評価であったが、生徒は 70%にとどまった。 【次年度の方針】小学生と中学生が連携した内容についての生徒への周知が不足していると思われる。アンケートの時に内容を説明したり、朝会で PR したりするなど周知の方法を検討する。
		B 1 教職員は、あいさつや対応が丁寧で誠実である。 【数値指標】肯定的回答 80%	<u>誰に対しても気持ちのよいあいさつを教職員自らが率先して行うとともに、相手の立場や気持ちになって、誠実に接するよう努める。</u>	B	【達成状況】教職員・保護者・地域住民では 90%を超える高評価であったが、生徒は 83%とやや控えめな結果だった。 【次年度の方針】今後も、教職員の生徒・保護者・地域住民に関わっていく意識を高めていく。
		B 2 生徒・教職員は時間を守り時間を大切に行動している。 【数値指標】肯定的回答 80%	朝の読書活動から日課時間を守り、チャイムとともに授業が進められるように教職員が生徒の手本となって時間を守った行動をとるようにする。	B	【達成状況】ノーチャイムデーの実施など、時間への意識は高まっていると思われるが、部活動の終了・下校時刻を守ることが徹底されていない。 【次年度の方針】授業の開始と終了、部活動の終了・完全下校時刻の順守を全職員で徹底していく。
		B 3 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている。 【数値指標】肯定的回答 80%	指導力の向上を目指した研究プロジェクトに取り組み、全ての教科の校内授業研究会等を実施するとともに、校外での研修を校内に生かし指導力の向上を図る。	B	【達成状況】保護者以外は 90%以上である。総合訪問や要請訪問で指導を受けたり、校内授業公開を 4 班編成にして互いの授業を見合い、アドバイスし合ったりすることができた。 【次年度の方針】授業を参観し合う取り組みを継続させ、「振り返り活動」の充実を図る。
	活	A 11 <u>生徒は、進んであいさつをしている。</u> 【数値指標】肯定的回答 80%	<u>あいさつ運動の推進を掲げる生徒会活動を活性化させ、生徒同士がすすんであいさつが出来るように支援する。月ごとに生活委員会とともに全教職員が通学路で「あいさつ運動」を行い、校内でも教職員からすすんであいさつを行うようにする。</u>	B	【達成状況】教職員・生徒とも肯定的回答が 90%を超えており、おおむね良好な状況であるが、一部あいさつをしても返さないような生徒も見受けられる。 【次年度の方針】あいさつの大切さを学級・学年・部活動を通して指導していくとともに、心のこもった丁寧なあいさつの励行を指導していく。
		A 12 <u>生徒は、正しい言葉づかいをしている。</u> 【数値指標】肯定的回答 80%	<u>時と場に応じた言葉づかいについて全教職員が様々な場面で機を逃さず指導を行う。</u>	B	【達成状況】教職員・生徒ともに肯定的回答が前年を上回っており、時と場に応じた言葉づかいができていると思われる。 【次年度の方針】生徒間の会話等にも注意し、不適切な言葉づかいを見逃すことなく指導していく。
		B 4 教職員は、一貫性・公平性のある生徒指導を基にして、生徒の規範意識を高めている。 【数値指標】肯定的回答 80%	積極的な生徒指導実践のため全校体制で指導にあたれるよう、生徒指導部会を中心に、一人ひとりの状況に配慮しながら段階的な粘り強い生徒指導を推進する。また、回覧する部会記録を通じ、生徒の共通理解を図る。	B	【達成状況】教職員の肯定的回答のみ前年より下がっているが、生徒・保護者とも前年を上回っており、一貫性・公平性のある生徒指導が行われていると受け止められていると考える。 【次年度の方針】報告・連絡・相談を徹底し、指導にあたっては、共通理解・確認・足並みをそろえた組織的な対応を行っていく。

健康・体力	A13 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 肯定的回答80%	学校行事の練習だけでなく、昼休みの運動など積極的な取り組みを支援する。冬場、グラウンドコンディションが悪いときに、昼休みの体育館開放で運動の機会を与える。	B 【達成状況】 肯定的回答が高い割合を占めるが、教職員の運動に関する評価が低い。「もっと生徒に運動してほしい」という期待感が、教職員の中で高いように思われる。 【次年度の方針】 なわとびや遊びやすい運動器具等の工夫で運動に親しみ、チャレンジする機会を多くつくってあげたい。また、運動の必要性を身体の発達面からも理解させたい。
	A14 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 肯定的回答80%	家庭科や保健、学級活動の授業を通し、食育がねらいとする食事の重要性、食文化、食品選択能力等の知識を身に付けさせるとともに、日常の給食指導を通して、配膳の工夫や食事マナー等を修得させるなど食育の推進を図る。 「給食献立表」や「食育だより」を配布し、バランスのとれた食生活の大切さを理解させる。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答が52%と低い。このことは給食の残量等を見ての回答だと思われるが、中には好き嫌いがあっても一生懸命に食べようとしている生徒もいるようである。 【次年度の方針】 やはり、野菜の食べ残しが目立ったので、野菜を小さめにカットすることや味付けで工夫することで給食時の残量を減らしたい。
	B5 授業や部活動などで一人一人が課題を持って体力の向上に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答80%	体力向上に向けた研究を行い、体育科を中心に、繰り返し継続して行う学校全体の体力向上計画を作り、年間を通して実施する。また、全校体制で、投力の育成や一人ひとりの課題解決策を教科保健体育の授業や部活動において促す。	B 【達成状況】 かなり高い肯定的回答であるが、教職員の生徒に対する達成状況の割合が下がっている。“運動熱”が冷めているのは、運動部活動加入率が激しいスポーツの種目ほど減っていることから分かる。 【次年度の方針】 スポーツの醍醐味や面白さを様々な機会に啓発し、保健体育の授業でも、運動の大切さを理解させたい。また、“たくましさ”を養うために、本校の教育目標を念頭におき、運動する機会を多く与えたい。
	A15 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答80%	主体的な学びを促す教材教具の開発や導入に努め、意欲的に学習に取り組める授業環境を整備する。	B 【達成状況】全て80%を達成している。地域住民と生徒の回答が向上している。 【次年度の方針】ワークシートや教材・教具を工夫し、生徒の興味・関心を高める。
	A16 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 肯定的回答80%	学習の約束（チャイム前着席・始業時のあいさつ・学習態度・発表の仕方・ノートのまとめ方）など教科共通の学び方や教科特有の学び方を身に付けさせる。	B 【達成状況】生徒72%以外は80%を達成している。ノーチャイムデーの取り組みによりチャイム着席は意識付けができた。 【次年度の方針】話し合い活動も盛んに行われているが、話し合いの進め方や発表の仕方などを指導する必要がある。
	B6 学習の目的やねらいがわかり、自ら進んで考え発言している。 【数値指標】 肯定的回答80%	学習のねらいや育てたい力を明確にして、指導と評価を一体化させた授業を展開する。	B 【達成状況】保護者70.5%以外は80%を達成している。 【次年度の方針】毎時間の学習のめあてを提示・確認するとともに、振り返りでの自己評価や記述を評価に生かす。
本校の特色・課題等	B7 総合的な学習等において、自らの課題が設定され、地域をフィールドにした調査研究活動が行われている。 【数値指標】 肯定的回答80%	地域をフィールドにした調査研究活動が意欲的に行われるよう、発達段階に応じた生徒の興味・関心に基づく適切な課題を設定させる。	B 【達成状況】保護者75.2%以外は80%を達成している。教師82%（昨年度72.7%）生徒97.1%（昨年度80.5%）の伸び率が高い。年計が熟慮され、各学年で設定した課題に対して、生徒が十分に達成感を味わえる取り組みができたためと思われる。 【次年度の方針】意欲的に取り組んでいる生徒の様子や学習の成果を各種便り等で保護者に知らせる広報活動を積極的に行う。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) 全ての評価者が全般的に肯定的な評価をしており、今年度の本校の取組は妥当であった評価できる。
- (2) 生徒たちは明るく、充実した学校生活を送っている。あいさつや言葉遣いもほとんどの生徒が適切に行うことができる。日常の授業や体育祭・学習発表会などの学校行事にも主体的に取り組み、大きな成果を上げている。部活動でも好成績を挙げている部が多い。
- (3) 保護者による評価では、いじめ対応や教科指導について、他と比較して肯定的回答の割合が昨年同様低いので、学校全体での充実を図りたい。すべての教育活動においてバランスのとれた知徳体を育成していくことを目指し、次年度の計画に引き続き反映させたい。
- (4) ○小中一貫教育については、生徒の評価のみ低いものになっている。今後、小中一貫教育について生徒に理解を深めさせ、より身近なものとなるよう指導・支援を行う。
- (5) ○地域学校園の各小学校との連携強化を図りながら、9か年を見通した指導計画を作成し、小中一貫教育を推し進め、星が丘地域学校園教育ビジョン「未来を切り拓く豊かな社会性の育成」に努めたい。
- (6) 本校生徒の授業への取り組み方はやや消極的で、改善が望まれるとの指摘もあった。生徒が落ち着いてかつ活発に話し合い活動や積極的な発表等で主体的に授業に臨めるよう、教職員一人一人がスキルアップ研修を重ね、授業力の向上を目指す。
- (7) 各種便りの積極的な発行や、ホームページの更新に努めるなど、各種広報活動を充実させた。保護者や地域への情報発信にさらに努め、開かれた学校づくりを推し進めたい。
- (8) 地域の方からの評価はたいへん肯定的なものであった。これからも地域の方々から信頼され応援させる学校づくりを推進したい。

6 学校関係者評価

- (1) 星中生の多方面にわたるボランティア活動はたいへん活発であり、地域としてもありがたい。これからも地域行事等への協力をお願いしたい。
- (2) 生徒の日頃のあいさつやきちんとした生活態度は評価できる。小学生の手本ともなっている。学校園の3小学校ともあいさつ運動の実施等で連携を強め、学校の特色としてほしい。
- (3) 地域に開かれた学校づくりを継続、発展させるためにも、広く人材を確保することが望まれる。生徒の内面の育成にも役立つと考えられるので地域としても協力していきたい。
- (4) 学校に活気が感じられる。運動部のみならず文化部の活躍も星が丘中の特色となっている。
- (5) 生徒の安全な登下校という視点から学校を取り巻く環境にさらに目を向けて、改善を要する点等を関係機関に積極的に発信し、生徒の安全確保に努めてほしい。
- (6) いじめ対策の公表と熱心な取り組みについては、保護者の肯定的評価が低い。それだけ保護者も関心が高く学校への期待も大きいと考えられる。全教職員の継続した指導や対応が望まれる。
- (7) 教職員の評価からみて、給食の残量が多そうである。生徒の体作りに関して、しっかりとした知識を持たせるためにも、食育をさらに充実させて、健康な生徒の育成に努めてほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- (1) ○「地域に愛される星中生」の育成については、今年度まで行ってきた取組を継続して実施するとともに、家庭、地域や学区内小学校との連携をより一層図っていく。
- (2) 学力の向上については、今年度も実施した学習習慣の定着を図る取組を継続させるとともに、教職員の授業力の向上を目指し、学力向上プロジェクトにおけるお互いの授業を見せ合い、指導法を研究する研修会を開く。
- (3) ○小中一貫教育を推進するために、小中の各部会の連携を深め、小中間での指導法の研究や教科の関連を検討していく。
- (4) ○社会性を身に付け、地域社会に貢献できる人間の育成を目指し、道徳の時間を中心に全教育活動の中で実施される道徳教育を意図的・計画的・横断的に行う。さらに、小中9か年の星が丘地区の指導計画に基づいて道徳的実践力の涵養を図る。
- (5) 健やかな体を育成するために、保健体育の授業を中心に教育課程内及び部活動を通して計画的・継続的に行う。また、給食指導や特別活動等で、食の大切さを考えさせる食育や安全確保のための避難訓練を通して、健康・安全についての知識や技能を身に付けさせたい。